

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 35-16 DAIKANTYO HIGASIKU NAGOYA 460-0002 JAPAN

「全ての世界に出て行こう」 国際会長主題 アジア会長主題 「未来を始めよう、いますぐに」

「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう」 西日本区理事主題

「長所を活かして生き生きと」 中部部長主題 「若い世代にワイズを広めよう」 クラブ会長主題

がんばれ日本 がんばるワイズ

2014年5月号

―<今月の聖句>――─

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

ヨハネによる福音書13章34節

名古屋グランパスホームページ http://www5.ocn.ne.jp/~ysmen/

2014年5月例会他ご案内

と き:5月13日(火)

ところ:神沢ファミリーYMCA

時 間:19:00~ (別紙駐車場地図参照)

ドライバー:吉田君

卓 話 貴方の知らない被災地の衛生環境

講師:医師、農学博士 森 正旭 氏

講師略歴:名古屋コミュニケーションアート

専門学校講師

◎第二例会

と き :5月27日(火) ところ : 名古屋YMCA 時間:19:00~

◎御岳日和田ワークキャンプ支援

と き:5月3日(土)~4日(日) ところ : 御岳日和田キャンプ場

時 間:現地14:00頃

◎第 17 回西日本区大会

と き:6月14日(土)~15日(日)

ところ : シンフォニアいわくに 山口県岩国市三笠町1丁目1-1

Tel 0827 — 29 — 1600

受付開始 11:30~ 大会開催 13:00~

4	例 会	出	席状	況	B Fポイント	クラブファンド(4月)
月例会	在 席 者	14 名	第 1 例 会	9名	当月・切手	ニコ BOX ノート
	例会出席者	9名	第 2 例 会	8名	当月・現金	感 謝 ファンド
	当月出席率	64%	その他	3名	累計	累計

第一例会レポート



陸前高田仮設市役所前で戸羽市長と記念撮影

日 時:2014年4月12日(土)~13日(日)

場所:東日本大震災被災地

参加者:阿部十炓、荒川、下村、高田十炓、坂野、

松原+44、吉田+44、 ゲスト参加:柴田勝義 京都東稜クラブ:大槻裕樹

もりおかクラブ:井上修三、長岡雅彦 仙台青葉城クラブ:加藤重雄、清水弘一、 仙台YMCA:村井信夫総主事、堀越祥浩

計19名



奇跡の一本松は復興機械の陰になっていたが

東北被災地訪問に参加して

会長 坂野清治

今回はグランパスクラブとして2回目の東北被災地訪問となり13名の有志の参加となりました。

前回はまだ何処に行ってもガレキや壊れた家屋、 廃車の山や被害の跡を残す光景でしたが、今回はガ レキが片付き宅地造成工事の重機や土を運ぶトラッ クが走り回り、造成のかさ上げの砂の山が至る所に 見られました。

陸前高田市をボランティアの語りべさんに案内して戴き、「15mの津波が8回押し寄せ全て持って行かれた」という言葉にショツクを受けました、本当に何も無くなっていました。

死者 1,800人 行方不明200人、市の人口が 24,500人→20,500人に減少、

現在4,800人が2,100戸の仮設住宅で暮らしている現状を説明されました。

震災後3年経過した今年、家族を亡くされた奥さんが自殺された話もお聞きしました、その方は、巻き添えにならないよう御主人が自分の手を離して津波に飲まれた光景がフラッシュバックとなり頭を離れず、ずっと悩んでいたとの事でした、本当に悲しい思いになりました。

その後、陸前高田市役所を訪問して戸羽 太市長に お話をお伺い致しました、去年、名古屋YMCAが 講演会にお招きして東北の現状をお話していただき ましたご縁で、快くお会いして戴く事が出来ました。

市役所の庁舎は津波の被害を受け、仮設のプレハブの庁舎になっていました、職員も70%の県外からの方で、大規模な土木工事や町再生には経験者でないと進めて行けないからとの事でした。

戸羽市長自身も市長になり僅か3ヶ月で被災して、 奥さんを亡くし子供を育てながら、この大変な復興 事業を進められて見え、何を決めるにしても多数の 反対派が出てきて、それを押し切って決断をして行 かなければならず、精神的にも大変な思いをされて 見えると感じました。



かつての市街地には・・・今は何もない

開発には2,500筆の土地買収が必要であり地権者は全国に散らばっており、印鑑をもらいに職員が九州の五島列島に行かれたお話や宅地造成のかさ上げに通常10年がかかるのを世界でも例の無い100億円の資材を投じて巨大ベルトコンベアーを作り、山から土を運び3年で完成させる試みをしたり、東北の被災地復興の牽引役となっている様に思いました。

被災者の現状は仕事に就くことが出来ない方が多く、数年後に宅地造成が完了しても、住宅を新築する資金が無く、元の暮らしに戻れるまで何年かかるか分からず不安になってみえる深刻な問題がある様です。

3年が経過してニュースや新聞紙面で取り上げられる事が少なくなり、忘れさられて行く中、東北被災地の現状を少しでも多くの方に見てもらい、グランパスクラブとしての継続した支援をして行きたいと思います。

次回は名古屋在銘のクラブにも報告会をさせてい

ただき、クラブの枠を超えた参加者を募る事が出来たらと思います。

今回サポートして戴いた、仙台YMCAの村井総主事、仙台青葉城クラブの加藤さん、盛岡クラブの井上さん、長岡さん、他多数のお力添え重ねてお礼を申し上げます。



外から見れば何でもない建物ですが・・・

感想程度ですが・・・・

下村明子

東北へは久しく足を運んでいませんでしたが、震 災後久しぶりに訪れた三陸は変わり果てた姿でした。 特に最初に訪問した陸前高田市での強烈なショック は今でも思い出す度に胸が締め付けられる思いです。 津波に何もかも持ち去られてしまった町を目の前に 被災された方々は何を思ったのでしょう。

きっとその風景を見て、「どうしよう。何から始めればいいのだろう。」と路頭に迷ってしまったことでしょう。それなのに、この3年で生活を再建し立ち上がった多くの方々がおられるのです。「どこから出てくるのだろう。このパワーは。」人間の底力がまるで「ずしり」と音を立てるかのように心に響きわたり、同時に身体には身震いを感じました。



4階まで津波が通り抜けたマンション

遮るものなしでどこまでも吹き抜けて行く風の強さ、舞い立つ砂埃でかすんだ空気も、名古屋でメディアを通して見ているだけでは感じ得なかったことです。訪れた地がこれからどのように変わっていくのか。来年もまた訪れたいと思います。

その時には今年よりも安心して生活できる環境に 近づいていることを願っています。 この二日間、岩手、宮城で同じ時間を共有することができたすべての方々に感謝いたします。



語りべさんのその時の話を聴く

岩手、宮城の被災地を訪ねて

高田師之子

私にとっては初めての東北の旅がこのような形での訪問になり、いつもの楽しい観光ではなくとても有意義な旅でした。二日間を地元の方々の案内でまわりどこへ行ってもなにもない景色にただただ驚くばかりでした。

特に印象的だったのは名取市の閖上地区で小高い高台に閖上湊神社がありここから見た景色には圧倒されました。名取市での犠牲者のほとんどがこの閖上地区に集中していて高台が遠い平野部での避難方法が車しかなく避難途中に津波に巻き込まれたそうです。あの広い場所にどれだけの人びとの暮らしがあったのかを想像すると胸が痛みました。

震災直後はニュースなどで津波の映像を見て遠い 所の事のような気がしていました。旅から帰り YouTube で訪ねた場所を見てみると実感が湧きもし 自分がこの場所にいたらどうしていただろう?と考 えさせられます。

旅から帰った今でも皆で歌った「花は咲く」のメロディーが忘れられません。



ワイズ3クラブの協力で建立された石碑

東日本大震災被災地支援ツアーに参加させていただいて、

松原好香

忘れもしない、平成23年3月11日金曜日午後2時46分。友達と大曽根のイオンでお茶をしておりました。座っているのに壁がグルグル回り、めまいがしているかと思いました。こんなに遠く離れている名古屋なのに、被災地の方々はどんなに恐怖を感じられていたことでしょう。TVで見ることでしか情報が得られない私に何が出来るのだろう?

Yの吉田兄は、立ち上げられました。『食べて東 北を支援する』これなら私も参加出来る。 微力なが らお手伝いさせて頂きました。



大川小学校跡はそのままだった

震災から3年経ち 現状を 視察出来る機会をグランパスの皆様と共有できました。やはり現場に行って見ないとわからないものですね。何もない。3年経っても、風が強く吹いて、とても寒い日でした。仮設住宅に住んでいる方々は、きっと隙間風に体を震わせているのでしょう。

津波が8回も襲って来たそうです。避難所の体育館は、洗濯機の中のようにグルグル回っていたそうです。26年4月21日の新聞に「南海トラフ巨大地震で浸水域の学校85%が避難所」と出ておりました。人ごとではない。

ただ、イチゴ農園の訪問できて、心に赤い火が灯 りました。これからも 支援させていただきます。



岩佐農園は復興が進んでいた。甘いイチゴでした



被災地視察旅行に参加して

柴田勝義

今回グランパスの皆さん初め被災地のワイズの皆さまありがとうございます。今回、被災地に行く前の体調がいい状態でなかったので辞めるか迷っていましたが、行くちょっと前にはいい状態なって、病気どうか分かりませんけど参加希望に誘ってくれて本当に嬉しかったです。

行く前には色々不安がありましたが、現地に着きまして、報道関係で知って教えて貰って、現地に行って見ると感動や驚きまして、まだまだ大変だと感じました。震災後も頑張っているイチゴ園の家族愛の大切さを感じて、イチゴも食べてとても幸せと満足しました。途中体調が悪かったけど皆さんの支えがあったから無事に迷惑掛けずに帰る事が出来できて幸せだなと感じました。

また、この病気どうか分かりませんけど、どんな小さい事も被災地のことを忘れずに取り込みたいと思いますので、また行く機会あったら元気で行きたいと思います。どんなに辛くても毎日楽しく頑張って欲しいな~



改めて、忘れない 3.11!

吉田一誠

一昨年の11月グランパスの東北ツアーに参加し、思わぬ歓迎を受け?'忘れない!'でという地元の皆さんの思いの強さを感じました。昨年は夏休みには少し時間をかけて宮古から仙台にかけて三陸海岸に沿って回り想いを新たにしました。今回は少し

早めに 名古屋を出発、途中あちこち寄り道をしながら陸路、福島の浜通り(福島県の海岸沿いの地域、福島原発はこのエリアにある)を経て仙台空港に車を置いて、仙台からは、やまびこ、に乗って花巻まで行き花巻空港で名古屋から来るメンバーと合流しました。花巻から仙台空港までの様子については既に皆さんが報告をされていますので私は福島原発近くを通った時の様子について少し述べたいと思います。

磐城から相馬方面には立ち入り禁止区域がある関係で海岸沿いの国道 6 号線で今はいけません、一度西に向かい東北自動車道近くまで迂回、滝桜で有名な三春町に向かいました。三春町の桜は残念ながら時期が少し早く、見ることができませんでしたが、あちこちにある桜の巨木、桜並木など、満開時に入ります。飯館村に入ります。飯館村に入ります。飯館村に入る気配がありたところとは突然様子が変わったといる気に感じました。飯館村を通り南相馬市に入るともに再び周りに見える家々には人の住んでいる気配が感じられました。

私たちが泊ったのは、東海クラブの鈴木一弘さんに紹介して頂いた、南相馬市の海岸近くにある農家民宿です。野菜を中心とした民宿の夕食は大変おいしく、温かいもてなしを受けて、はるばる来た甲斐があったとおもいました。高台にあるこの民宿は地震や津波の被害はほとんどなかったようですが、原発から40km程のところにあった関係で一時は避難をされたとのことでした。夕食後に宿のご夫婦から震災後のお話を聞くにつれ、今に続くこの地域の方々が受けられている苦難は、今まで見聞きした震災の被害とは全く異質のものであることがよくわかり、相槌を打つだけでなにも言えない自分が正直情けないと思いました。



復興スピードの速い陸前高田市。一本松が遠くに見える

奥さんにすすめられてあくる日は6号線を原発の 方向に車で行きましたがものの10分も走らないう ちに、周りは津波で破壊された家屋、田んぼの中に ひっくり返っているは車やトラック、スーパーの横 に乗り上げている鋼鉄製の漁船など、恐らくまだ当時と何 も変わっていない光景がみられるとともに、ところによっては全く無傷とも見える家や商店に人の気配がないという、見たこともない光景に、改めて福島の直面 している他とは全く違う難題を見たおもいがしました。一昨年に南三陸に行った時以上に気が沈み、そのままとても車を進める気もせず仙台に向かいました。

この地域は一昨年も今年も訪れた山元町、坂元駅から車であれば1時間ほどのところです。坂元駅付近は更地になり今では復興に向けてトラックが走り回っていました。あまりに対象的な現状に頭が混乱しています。今私が何をしたら良いかわかりませんが、来て見て問題の複雑さを改めて肌で感じました。グランパスの次の東北ツアーでは是非放射能被災区域も組み込むべきではないかと思いました。

今回のツアーでは仙台のYMCA総主事をはじめとするスタッフの方々、ワイズの皆さん、盛岡のワイズの皆さんに一方ならぬお世話になりました。誠に感謝です。このようなツアーにもっと多くの人を巻き込んで継続していくことが私たちの務めかと思います。

改めて、忘れない 3.11!

農家民宿'森のふるさと'の奥さん(森さん)からいろいろお話を伺いましたが、その中で特に印象的だったのが仮設住宅に避難しておられる方々のことです。特にお年寄り、女性、には日々やりがいのある仕事がないということでした。放射能問題の起きる以前には家を一歩出れば、畑仕事、山仕事春夏秋冬自然の中でなにがしかの仕事ができていたのが、今や何もできずおまけに、狭い仮設住宅に閉じ込められているのは我々には想像できないストレスかと思います。



猫の寝床(イチコ)

これらの問題を何とかしようと、各方面のボランティアからいろいろな提案と実際の指導もあり、稲わらで作った'イチコ'(猫の寝床をこの地方ではイチコと呼ぶとのことでした、写真1参照)の制作、藍の栽培から初めて藍染め製品の制作(写真2参照)、

携 帯用のストラップの制作、等できるようになったとのことですが、悩みは継続的に販売できず、材料を仕入れることができないために仕事もできないというのが現状のようでした。このような製品の販売は我々でもお手伝いできることでしょう。どなたかアイデアがありましたら提案ください。それにしても、まず行って みてお話を聞くということが始まりのようにも思います。名古屋から時間がかかるので難しいかもしれませんが、ぜひ現地へ出かけましょう。



ご参考までに私が泊まった民宿の情報を送ります。http://www.msouma-furusato.jp/iju/taizai.htmlこの WEB の二番目にある民宿(森のふるさと)が私が泊まったところです。但し、このサイトの情報は震災以前のもので震災後更新されていないということです。すでに廃業したところもまだ載っているようです。



今回はこのバスで移動しました。

2度目の被災地訪問

阿部一雄

平成 24 年 11 月に訪れて以来 2 度目の訪問となった被災地訪問でしたが、今回も現地を訪れないと分からない事実が多々あり、心に響く被災地訪問とな

りました。

表面的にはがれきも無くなり、がれき処理プラントも撤去されていた部分を見ると、復興が確実に進んでいる反面、手付かずな部分も多々あり、復興格差のような部分も見て取れました。また、地域の実情を反映されずに行われている埋め立てなどは、国主導? ゼネコン主導なのか、行政の縦割りを「ここでもか!」と思わせる、象徴的な光景として見ることができました。



このまま残されるとか

また、平成25年5月に行われた戸羽陸前高田市長による名古屋での講演を経て、今回表敬訪問させて頂いたことは、前回の講演からつながる話として個人的にはとても有意義な話として受け止められました。行政のトップとして昨年取り組まれていたことが、現地を見てより理解が深まったと共に、市長の本音、苦悩を窺い知れました。

ホテルや売店で見させて頂いたビデオ映像は、とても心に響きました。現地に居たので、そのスケール感を感じ取ることができ、津波の起こった事実を実感し、記憶に留めることができました。

被災地訪問で唯一嬉しく感じたのは、1度目より確実に人々の顔の表情が良くなったことです。心には多くの不安や傷を負っているとは思いますが、人が前に進む力強さも感じた訪問でした。

私たちをサポート下さった仙台 YMCA の方々、ワイズの方々に感謝です。これからも皆さまのご活躍を祈念しています。



戸羽市長との交流について

荒川恭次

今回の被災地訪問では、陸前高田市の戸羽市長が 訪問日が土曜日にもかかわらず我々と会っていただ きました。陸前高田市の現状を具体的に聞くことが でき、意見交換までしていただいたことは、被災地 の長の口から直に情報を得られたという貴重な経験 でした。以下その一部を紹介します。



巨大なベルトコンベアが復興を象徴しています

戸羽市長より・・「震災から3年経ちました。やっ と落ち着いた雰囲気にはなったがご覧になったよう に街は未だ何も無い状況です。岩手県の被災地の中 では一番ひどい状況となっています。皆さんがご覧 になったベルトコンベアは4月14日から本格的に 稼働する予定です。山を削って町の地盤を盛り上げ る予定です。私たちの復興計画では、海の高さを0 とした場合、TP(※①) 1 2 mの街を新たに造る予 定です。元々の地盤が高いところで6m、低いとこ ろでは2mでしかないので、12mにしようとする と、今の地盤の上に土を盛り上げそれを締め固めて 10mにしなければならない。その上に家を建てる ことになっています。それを本格的に行うためにあ の巨大なベルトコンベアを設置しました。1日に運 べる土の量は普通のダンプカーで4000台と言わ れています。あの山の土を普通のダンプカーで運べ ば7~10年かかります。それをベルトコンベアで は1年2ヶ月で行うことができます。あのベルトコ ンベアは日本の最新技術で世界中から注目されてい ます。現在山の上で作業しているダンプ車は45ト ン車です。普通の道路を走っているダンプ車は9ト ン車です。(45トン車のタイヤの直径は2mもあ る。) ベルトコンベアで運ばれた土は45トン車で運 ぶことになっています。平成26年、27年この2 年間が我々の勝負の年であります。

名古屋市とは親密な関係があります。先日の中日新聞でご存知のように、河村市長が今年度中に姉妹都市ではなくより兄弟感のある友好都市関係を提携したいと言われています。将来の子供たちが夢を持ってもらうためにも自治体交流を深めたい。ノーマライゼーション(※②)のコンセプトの元に都市づく

りを進めます。そして今年度はいよいよ全庁あげて 動き出すための準備を進めています。



陸前高田市役所は未だ仮設庁舎でした

国連の各セクションの中日代表を全員呼んでお願いしました。それは2015年仙台で世界中の閣僚が集まる国連防災会議が開催される予定ですが、その中で障がい者・高齢者の部門のワークショップを陸前高田市に担当したいと働きかけました。同様に外務省にもお願いしています。SO(※③)(スペシャルオリンピクス)創始者の家系のケネディー大使にもお話し、我々のコンセプトはご理解いただきました。外堀を埋めてから政府に申請します。

街はご覧いただいたようにまだまだ復興に時間はかかります。人の住む所については、みなさんの見ていただいたところは市の中心地で、盛り土をして道路を貼り付け、水道・ガス等インフラを整備します。その他中心地以外に27か所の高台移転計画があります。26年度中に25か所が整地完了する予定であり、宅地が整備された後にはそれぞれ家を建てる手順であるが、建築稼働の不足、資材の高騰等大きな課題があります。その他多くの課題があるが、ひとつひとつ解決しながら復興してゆきたい。」



未来商店街で昼食(海鮮丼が旨かった)

回の視察全体を見ての感想です。

その他の課題について具体的に述べられましたが 誌面の都合で割愛しました。名古屋の講演会で感じ られたバイタリティーはそのままで、前向きな姿勢 でみなさんを引っ張っていかれることと思います。 「復興は陸前高田市が一番最初に完了できる。」と今

- ※①: Tokyo Peilの略で、東京湾平均海面のこと。測量 法および施行規則では、わが国の高さの水準原点 の数値は東京湾平均海面上 24.4140m となってお り、わが国の高さの基準面となっている。
- ※②:「社会で日々を過ごす一人の人間として、障害者の生活状態が、障害のない人の生活状態と同じであることは、障害者の権利である。障害者は、可能な限り同じ条件のもとに置かれるべきであり、そのような状況を実現するための生活条件の改善が必要である」とする考え方。
- ※③:知的障害者のためにスポーツプログラムを提供する国際的なスポーツ組織。故ケネディ元大統領の妹、ユニス・ケネディ・シュライバーが、自宅の庭で知的障害者のためのデイキャンプを行ったのが始まり。

二日目の早朝、偶然出会った素晴らしい日の出は、 何かを与えれた事を象徴するもののようでした。



第二例会レポート



日 時 : 2014年4月22日(火)

場 所 : 名古屋 Y M C A

出 席 : 坂野、松原、早川、高田、服部、吉田、

荒川、三井、下村、遠藤

欠席:信田、佐藤、阿部、坂口、

ゲスト:坂本、中井

議事

 1. 旧連絡主事 坂本さんから連絡事項 神沢YMCAの備品購入依頼の件→5月第一例 会で再検討

- 2. 4/29 (祝) 根の上まつり 名古屋YMCA 根の上キャンプ場 10時30分~15時 参加予定 松原夫妻、吉田、坂口、信田 50名ぐらいの予定
- 3. 4/22(火)~4/27(日) ワイズメンズクラブ障害者アート展 名古屋市民ギャラリー栄 名古屋クラブ 谷川 氏より受付スタッフの要請あり お手伝い予定 24日午前:荒川、25日午後: 下村、26日午前:吉田
- 4. 5/3 (土) ~ 5/4 (日) 日和田キャンプ場 ワークキャンプ、リーダーサポート 1 2 時集合 昼食 1 3 時 ~ ワーク 1 7 時 B B Q 開始

参加予定 荒川、三井、松原、服部、坂野、 早川

- 5. 5/13 (火) 第一例会予告 ドライバー吉田 場所変更 神沢 Y M C A 3 階 卓話 弁当有 卓話仮題 「震災後の衛生問題」
- 6. 6/14~6/15の西日本区大会の申込書到 着→クラブ単位で申し込み 参加 荒川、荒川メネ、早川、早川メネ、吉田、 吉田メネ、松原、松原メネ、坂野、服部、

下村 11名

- 7. 1泊例会6/28(土)~6/29(日)多治 見修道院研修センター 16時集合 ドライバー松原次期会長 参加予定 松原2、荒川2、早川2、阿部2、 坂野、高田、三井、吉田、坂口、 下村
- 8. その他
 - ・ 陸前高田市への義援金についてのクラブ負担等について
 - ・ 東北被災地訪問ツアーの報告会等→5月末 ぐらい迄に資料作成する

(名古屋クラブと合同例会時に報告会を検討中)

神沢ファミリーYMCA



日 時:2014年4月5日(土) 場 所:神沢保育園&YMCA

神沢YMCA会館竣工式

服部庄三

4月5日14時より待望の「名古屋YMCA 神沢ファミリーYMCA会館」の竣工式が行なわれました。公益財団法人となって最初の事業のスタートです。会館の1、2階は保育園、3階が神沢ファミリーYMCAとして、地域に根ざした活動をしていく拠点です。地域の代表、近隣の保育園の代表をお招きし、キリスト教の儀式に沿った進行で進められました。真新しい環境の中で、地域の子供達の成長を大きく育むよう期待します。

式の後、各階を見学し談笑しましたが、年少組のトイレのかわいさに皆がびっくりしていました。大体大人のスリッパの少し大きいくらいの便座のついた洋式トイレです。見学に行かれた時は必見のところです。



同日この会館見学を兼ねて行なわれた。会館近辺 の東北震災チャリティーウォークに参加したメンバ ーも加わり、楽しい見学会になりました。

第2回チャリティーウォーク



日 時 : 2014年4月5日(土) 場 所 : 地下鉄野並~神沢YMCA

荒川恭次

今回のチャリティーウォークは神沢保育園&ファミリーYMCAの見学を兼ねて、歴史ある鎌倉街道をスタートし絶景ポイントの滝の水公園を中継し、神沢保育園をゴールとされました。



集合場所の地下鉄野並駅 1番出口三菱UFJ銀行前を定刻にスタートし、ガイド役の東海クラブ浅野さんの案内で鎌倉街道散策が始まりました。普段は車で通り過ぎてしまう場所も、次週の東北ツアー用に買ったウォーキングシューズの慣らしを兼ねて自分の足でじっくり歩いてみると、浅野さんの丁寧な資料付き解説もあって新たな発見がたくさんありました。



アップダウンのある緑区特有の地形もあってけっこうな運動量を消化しました。1939 年生まれとは思わせない軽快な足取りの浅野さん。平地でタラタラ生活する私とは圧倒的な日常運動量の違いを感じさせられました。約1.5 時間のウォーキングを滝の水公園の丘の上で360°絶景で「3.11を決して忘れない」と締めくくり、保育園&YMCAに向かってチャリティーウォークを終えました





第10回長野車いすマラソン大会



第10回長野車いすマラソン大会に参加して

阿部一雄

4月20日(日)に長野マラソンと併催で開催された 第10回長野車いすマラソン大会に参加してきました。お尻にケガを負い、本格的な車いすマラソンに 参加するのは2年振りになりました。

結果はやっぱり過去最低のタイム(苦)×(恥) 練習を昨年から徐々に開始していたのですが、タイムがなかなか上がらない日々が続いていました。体 重は増えていなかったので、筋肉が脂肪に変わっていたようです(笑)

私が車いすマラソンを行う理由は、普段車いすばかり乗っていては体がなまってしまうからです。車いすマラソンは自由な時間に、1人で練習ができるので、空いた時間に練習ができるのが魅力でもあります。また大会へ参加すれば、仲間も参加していることから、彼らやボランティアの方々と交流が持て、日々の生活などの情報交換も行えます。

今度は9月の大会となりますので、夏場に練習を 重ね、以前のようなタイムが出ることを目標に頑張 ります!



アール・ブリュット名古屋展

日 時 : 2014年4月22日(火)~27日(日) 場 所 : 名古屋市民ギャラリー栄 展示室8



荒川恭次

ワイズメンズ国際協会西日本区のメネット事業の 方針、年度事業計画に協賛し、中部として第2回障 がい者アート展(アール・ブリュット展)が開催され ました。障がいがある人でも、一般の人と同じよう にアートを創造したり、楽しんだりするということ を多くの市民に知ってもらうとともに、その作品が 多くの市民の鑑賞をえることにより、障がいのある 人たちの生きがいを高め、生活に張りをもたらすこ とを目的とします。開催中23日にこの受付担当をお 引き受けし、芸術展の受付は初めてながら、ゆっく りと静かに流れる時間を楽しみました。



YMCAたより

遠藤恵美子

4月からグランパスワイズの連絡主事をさせてい ただく遠藤です。

いつも日和田キャンプ場のリーダートレーニング やワーク、震災支援の活動などでご活躍していただ きありがとうございます。まだ例会に参加させてい ただいて1ヶ月しかたっておりませんが、みなさま の仲の良い会話や雰囲気が素敵だなと思っておりま す。また、私が仙台出身ということで震災支援に力 を入れてくださっているグランパスワイズに関わり を持てること、自分の地元のことをこんなに考えて くださる方が多くいることがうれしく思います。こ れからよろしくお願いいたします。

その他

1. 今月の誕生日

happy birthday

高田 士嗣 (3日) 佐藤 恵子 (21日) **congratulation!**

アルバム



あのビルの屋上のまたその上まで津波が襲ったとは、 今の状況からはとても想像できません。その場に立って 始めてわかる「その時の恐怖感」を味わいました。みな さん声を失っていました。この写真で少しご理解できる でしょうか。

2. 例会等出席状況

No.	氏	名	4 / 12 13 第一例会	4 / 22 第二例会	4 / 5 チャリウォーク	4 / 22 27 アールブット
1	阿部	一雄	0			
2	荒川	恭次	0	0	0	0
3	坂口	功祐				
4	佐藤	壽晃				
5	信田信	尹知郎				
6	下村	明子	0	0		0
7	高田	士嗣	0	0		
8	坂本	清則		0 0 0 0 0 0	0	
9	服部	庄三		0	0	
10	早川	政人		0	0000	
11	坂野	清治	0	0	0	0
12	松原	誠	0	0		
13	三井	秀和		0		
14	吉田	一誠	0		0	0
15	遠藤甚	5美子		0		0
16						
	Ē	+	9	10	6	5



帰途の仙台空港にて「お疲れ様でした」

